

3.2 自然的状況

(1) 大気質、騒音、振動、悪臭、気象等の状況

ア 気象

対象事業実施区域周辺の気象観測所は、熊谷地域気象観測所及び寄居地域気象観測所である。

熊谷地域気象観測所及び寄居地域気象観測所における過去 10 年間の気象の状況は表 3.2-1 に、令和 2 年の気象の状況は表 3.2-2 及び図 3.2-1 に、同じく風配図は図 3.2-2 に示すとおりである。

熊谷地域気象観測所における平成 23 年～令和 2 年の平均気温は 15.7℃、最高気温は 38.9℃、最低気温は-5.0℃、平均風速は 2.5m/s、平均降水量は 1286.7 mmである。

また、令和 2 年の平均気温は 16.2℃、最高気温は 39.6℃、最低気温は-5.2℃、平均風速は 2.4m/s、最多風向は西北西、年間降水量は 1364.0 mmである。

寄居地域気象観測所における平成 23 年～令和 2 年の平均気温は 14.4℃、最高気温は 38.2℃、最低気温は-7.4℃、平均風速は 1.7m/s、平均降水量は 1306.5 mmである。

また、令和 2 年の平均気温は 14.8℃、最高気温は 39.2℃、最低気温は-7.3℃、平均風速は 1.5m/s、最多風向は西北西、年間降水量は 1360.0 mmである。

表 3.2-1(1) 気象の状況(熊谷地域気象観測所：過去10年間)

年	気温 (°C)			平均風速 (m/s)	最多風向	降水量 (mm)
	平均	最高	最低			
平成23年	15.4	39.8	-4.6	2.5	北西)	1324.5
平成24年	15.1	37.8	-5.6	2.7	北西)	1079.0
平成25年	15.6	39.3	-4.8	2.7	北西)	1251.0
平成26年	15.3	38.8	-4.7	2.6	北西)	1387.5
平成27年	16.0	38.6	-4.6	2.5	北西)	1335.0
平成28年	15.9	37.3	-5.7	2.4	北西)	1301.0
平成29年	15.4	37.8	-5.3	2.6	西北西)	1308.5
平成30年	16.4	41.1	-5.3	2.4	西北西)	1056.0
令和元年	16.1	38.4	-4.3	2.6	北西)	1460.5
令和2年	16.2	39.6	-5.2	2.4	西北西)	1364.0
平均	15.7	38.9	-5.0	2.5	—	1286.7

注)「) 」は、統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値(資料が欠けていない)と同等に扱うことを示す。

出典：「過去の気象データ検索」(令和3年7月閲覧、気象庁ホームページ)

表 3.2-1(2) 気象の状況(寄居地域気象観測所：過去10年間)

年	気温 (°C)			平均風速 (m/s)	最多風向	降水量 (mm)
	平均	最高	最低			
平成23年	14.0	39.2	-7.3	1.7	西北西	1595.0
平成24年	13.7	37.1	-8.2	1.8	西北西)	1218.5
平成25年	14.3	38.9	-7.7	1.8	西北西)	1105.0
平成26年	13.9	38.0]	-8.2	1.8	西北西)	1398.5
平成27年	14.6	38.3	-6.1	1.6	西北西)	1226.0
平成28年	14.6	37.3	-7.4	1.6	西北西)	1192.5
平成29年	13.9	36.5	-7.1	1.7	西北西)	1238.0
平成30年	15.0	39.9	-8.5	1.6	西北西)	1082.5
令和元年	14.7	37.8	-6.3	1.7	西北西)	1649.0
令和2年	14.8	39.2	-7.3	1.5	西北西)	1360.0
平均	14.4	38.2	-7.4	1.7	—	1306.5

注1)「] 」は、統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けていて、値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いないが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上（以下）であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合があることを示している。

注2)「) 」は、統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱うことを示している。

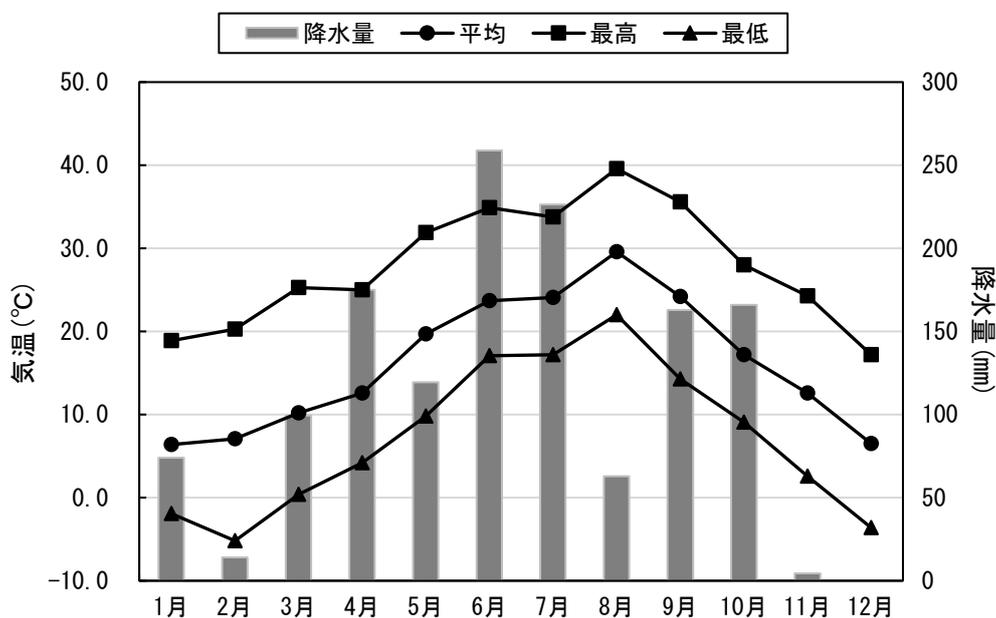
出典：「過去の気象データ検索」（令和3年7月閲覧、気象庁ホームページ）

表 3.2-2(1) 気象の状況(熊谷地域気象観測所：令和2年)

月	気温 (°C)			平均風速 (m/s)	最多風向	最大風速		降水量 (mm)
	平均	最高	最低			風速(m/s)	風向	
1月	6.4	18.9	-1.9	2.6	西北西	9.3	西北西	74.0
2月	7.1	20.3	-5.2	2.9	西北西	10.4	北北西	14.0
3月	10.2	25.3	0.4	3.0	西北西	11.9	西北西	99.5
4月	12.6	25.2	4.2	3.2	西北西	12.7	北西	175.0
5月	19.7	31.9	9.8	2.3	東	8.6	北西	119.5
6月	23.7	34.9	17.1	2.2	東南東	12.1	北北西	259.0
7月	24.1	33.8	17.2	1.7	東	9.3	西	226.5
8月	29.6	39.6	22.0	2.2	東	8.4	南東	63.0
9月	24.2	35.6	14.3	2.0	東	6.7	南東	163.0
10月	17.2	28.0	9.1	2.0	西北西)	7.7	北西	166.0
11月	12.6	24.3	2.6	2.3	西北西	11.1	北西	4.5
12月	6.5	17.2	-3.6	2.4	北西	12.9	西北西	0.0
年間	16.2	39.6	-5.2	2.4	西北西)	12.9	西北西	1364.0

注)「) 」は、統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値(資料が欠けていない)と同等に扱うことを示す。

出典：「過去の気象データ検索」(令和3年7月閲覧、気象庁ホームページ)



出典：「過去の気象データ検索」(令和3年7月閲覧、気象庁ホームページ)

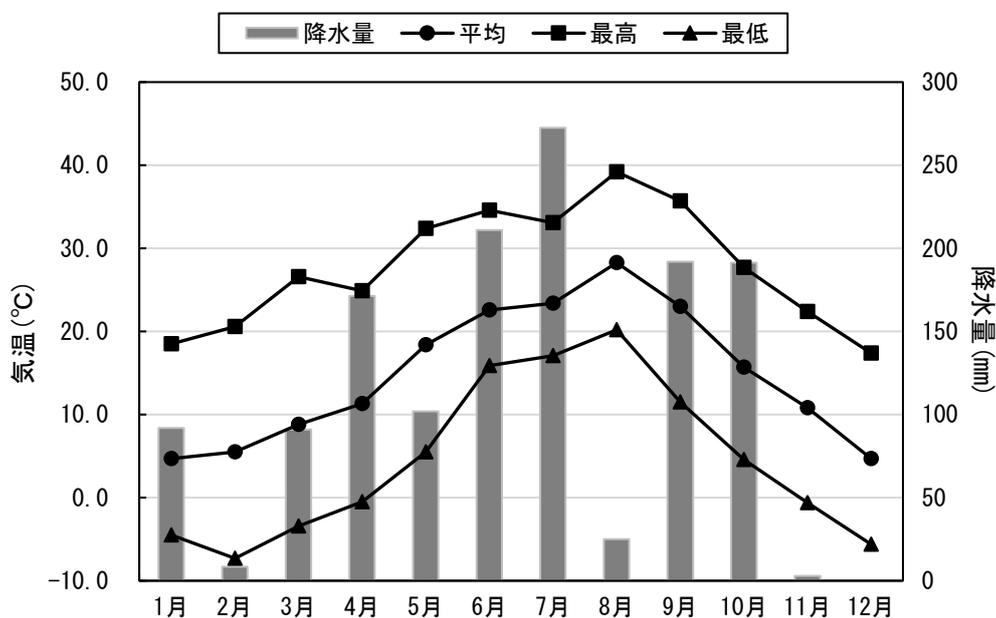
図 3.2-1 (1) 気温及び降水量の状況(熊谷地域気象観測所：令和2年)

表 3.2-2(2) 気象の状況(寄居地域気象観測所：令和2年)

月	気温 (°C)			平均風速 (m/s)	最多風向	最大風速		降水量 (mm)
	平均	最高	最低			風速(m/s)	風向	
1月	4.7	18.5	-4.5	1.8	西北西)	10.9	西	92.0
2月	5.5	20.6	-7.3	1.9	西北西)	8.3	北西	8.5
3月	8.8	26.6	-3.4	2.1)	西北西)	11.1)	西	91.0
4月	11.3	24.9	-0.5	2.1	北西	9.3	北西	171.5
5月	18.4	32.4	5.5	1.4	南東	6.8	北西	102.0
6月	22.6	34.6	15.9	1.2	南東	5.2	東南東	211.0
7月	23.4	33.1	17.1	0.9	南東	7.0	北西	272.5
8月	28.3	39.2	20.2	1.2	南東	6.4	北西	25.0
9月	23.0	35.7	11.5	1.1	南東	9.2	西南西	192.0
10月	15.7	27.7	4.6	1.2	西北西	6.5	北西	191.5
11月	10.8	22.4	-0.6	1.6	西北西	8.8	北西	3.0
12月	4.7	17.4	-5.6	1.8	西	11.8	北西	0.0
年間	14.8	39.2	-7.3	1.5	西北西)	11.8	北西	1360.0

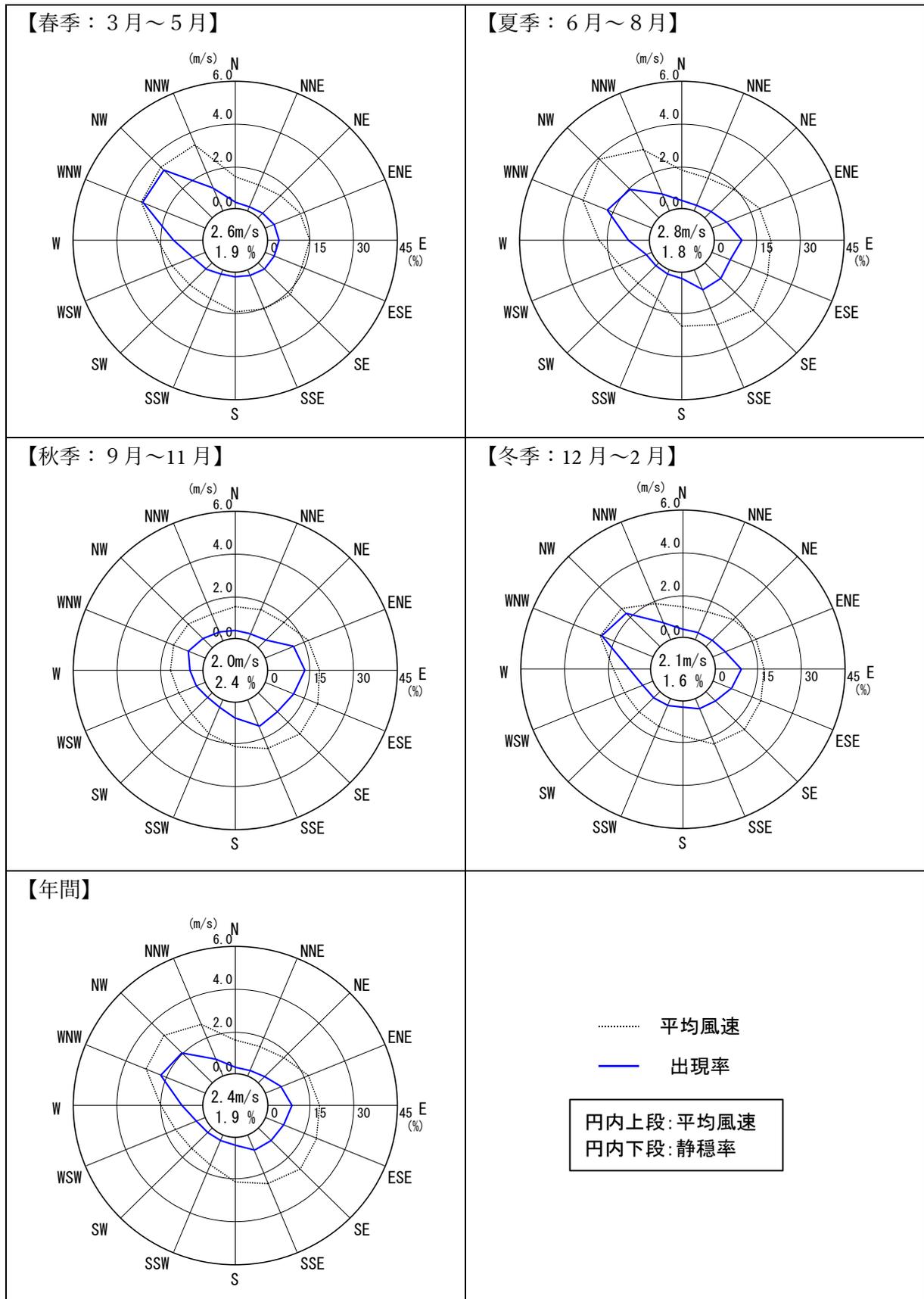
注)「) 」は、統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値(資料が欠けていない)と同等に扱うことを示している。

出典：「過去の気象データ検索」(令和3年7月閲覧、気象庁ホームページ)



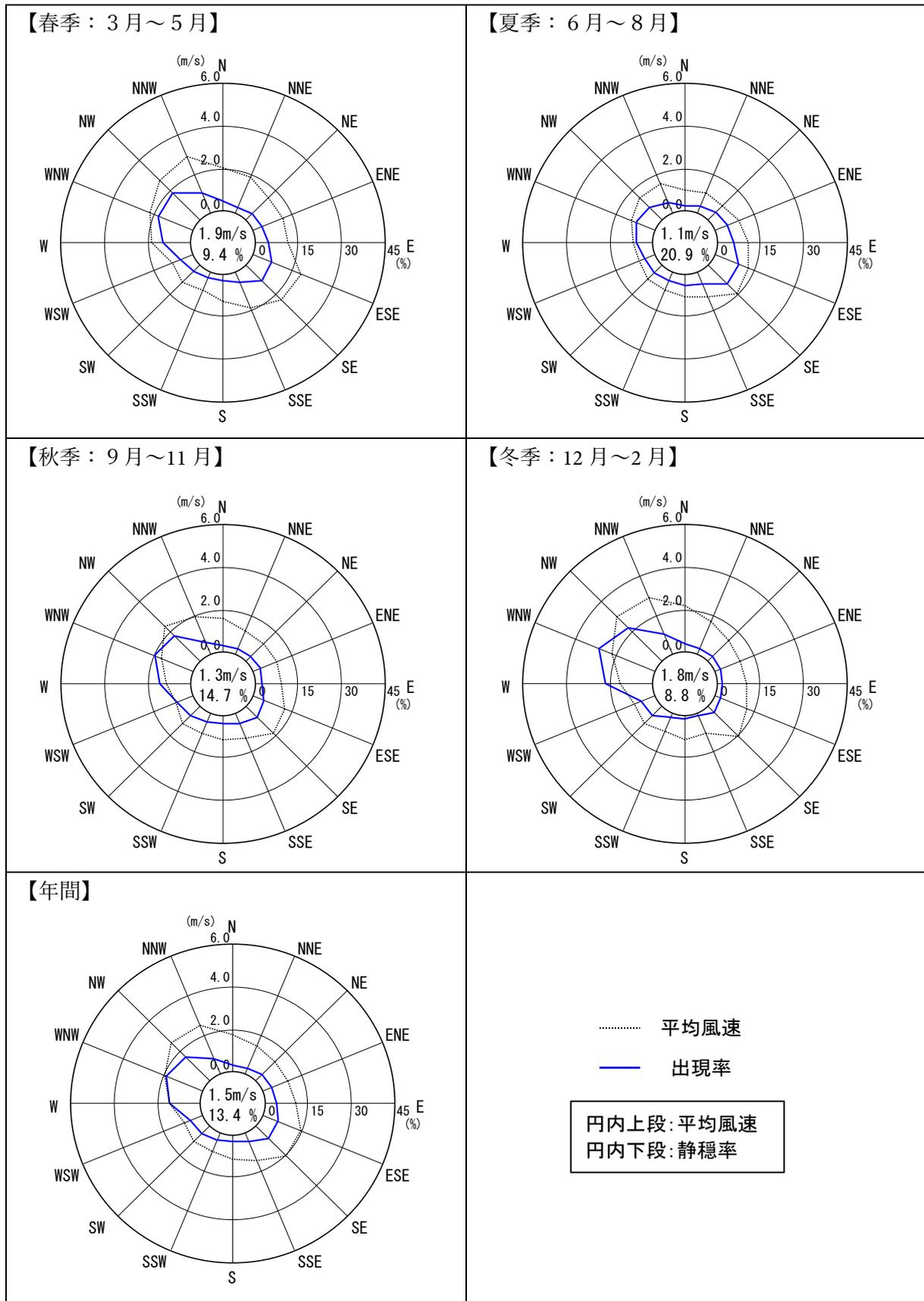
出典：「過去の気象データ検索」(令和3年7月閲覧、気象庁ホームページ)

図 3.2-1 (2) 気温及び降水量の状況(寄居地域気象観測所：令和2年)



出典：「過去の気象データ検索」（令和3年7月閲覧、気象庁ホームページ）

図 3.2-2 (1) 風配図(熊谷地域気象観測所：令和2年)



出典：「過去の気象データ検索」（令和3年7月閲覧、気象庁ホームページ）

図 3.2-2 (2) 風配図(寄居地域気象観測所：令和2年)

イ 大気質

対象事業実施区域周辺には、一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）が1箇所（深谷局）、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）が1箇所（深谷原郷自排局）、深谷市独自のダイオキシン類調査地点が3地点ある。

各測定局の測定項目は表 3.2-3 に、測定局の位置は図 3.2-3 に示すとおりである。

表 3.2-3 測定項目

区 分	測定局	二酸化硫黄	窒素酸化物	一酸化炭素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	炭化水素	ダイオキシン類	有害大気汚染物質
一般局	深谷		○		○	○	○		○	
自排局	深谷原郷		○			○	○	○		
深谷市 測定地点	中通り自治会館								○	
	櫛引東部自治会館								○	
	岡部総合支所								○	

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書（令和元年度）」（令和2年12月、埼玉県環境部）

「令和元年度版 深谷市の環境」（令和元年10月、深谷市環境水道環境課）

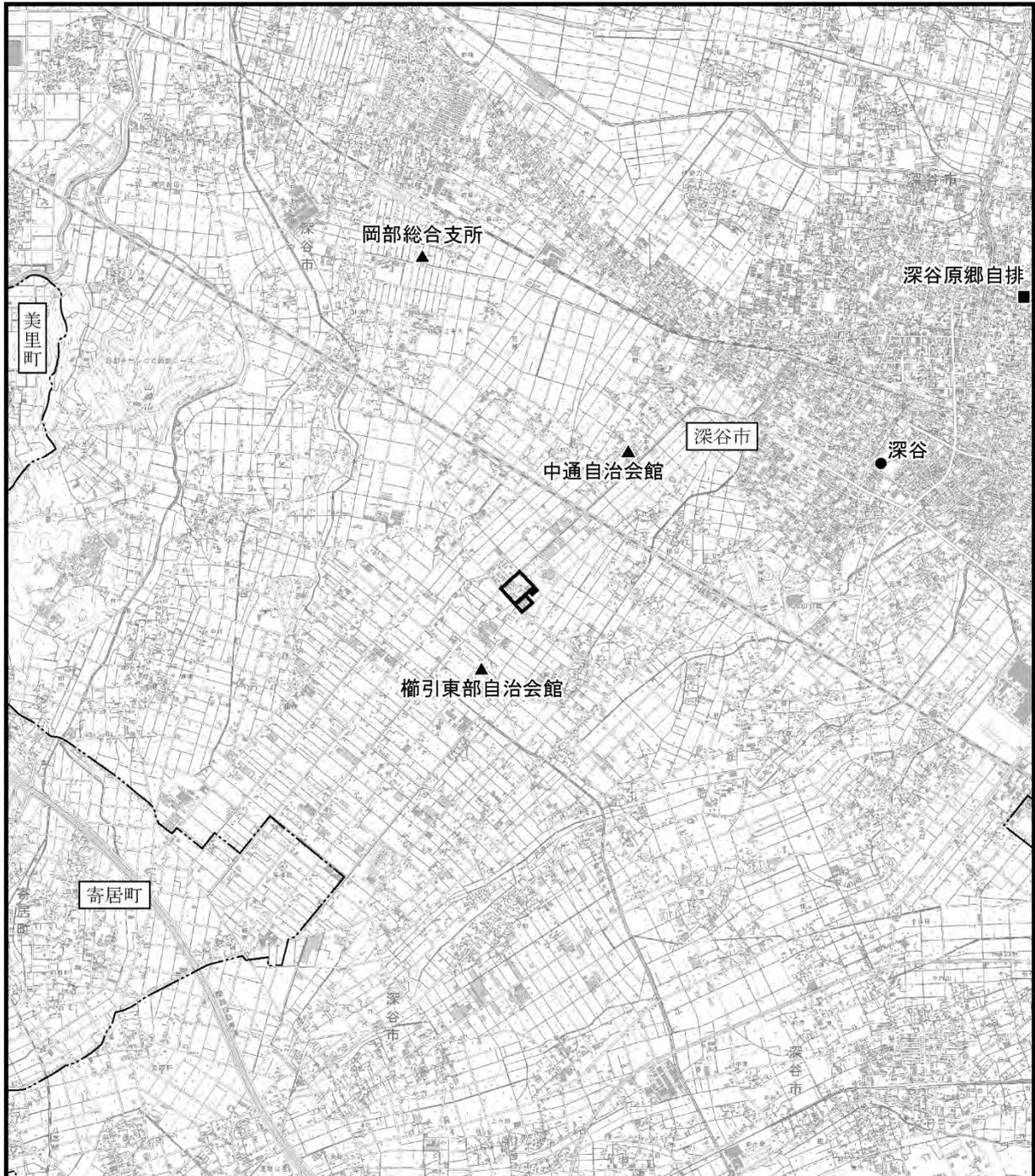
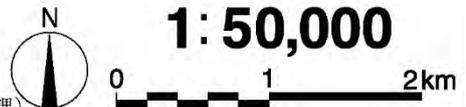


図3.2-3 大気常時監視測定局等位置図

凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 市町界
- : 一般局
- : 自排局
- ▲ : ダイオキシン類測定地点

出典：「令和元年度大気常時監視測定結果報告書」
 （令和2年12月、埼玉県環境部）
 「令和元年度版 深谷市の環境」（令和元年10月、深谷市環境水道環境課）



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

(ア) 二酸化窒素

二酸化窒素の令和元年度における測定結果は、表 3.2-4 に示すとおりであり、各測定局ともに環境基準を達成している。

平成 27 年度から令和元年度における二酸化窒素の経年変化は、図 3.2-4 に示すとおりである。1 日平均値の年間 98% 値は減少傾向であり、いずれの年度も環境基準を達成している。

表 3.2-4 二酸化窒素の測定結果(令和元年度)

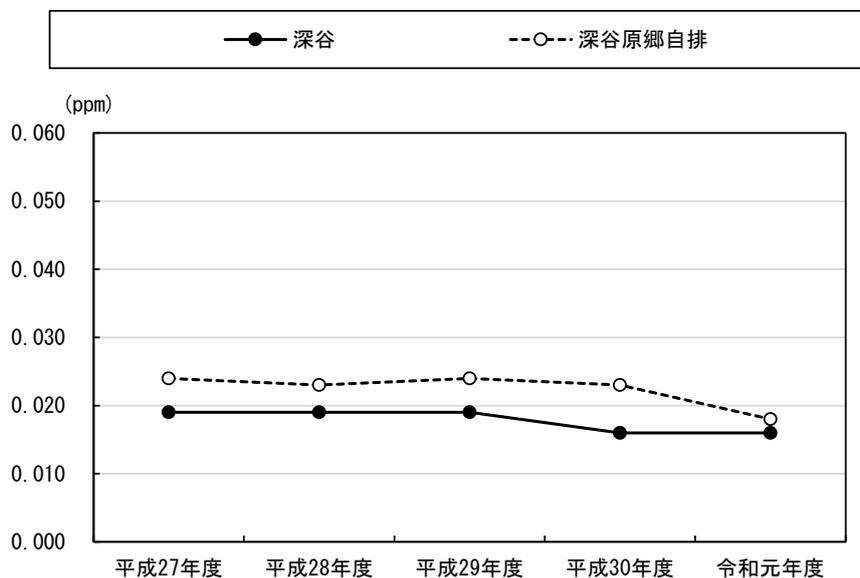
区分	測定局	年平均値 (ppm)	日平均値の年間98%値 (ppm)	環境基準
一般局	深谷	0.008	0.016	○
自排局	深谷原郷自排	0.009	0.018	○

注) 環境基準及び評価方法は、以下のとおりである。

環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

評価：1時間値の1日平均値の年間98%値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であることを達成した場合は「○」、達成しない場合は「×」。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書（令和元年度）」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境局部）



出典：「平成27年度～令和元年度大気汚染物質の常時監視測定結果について」

(令和3年7月閲覧、埼玉県ホームページ)

図3.2-4 二酸化窒素の経年変化(年間98%値)

(イ) 光化学オキシダント

光化学オキシダントの令和元年度における測定結果は、表 3.2-5 に示すとおりであり、環境基準を達成していない。

平成 27 年度から令和元年度における光化学オキシダントの経年変化は、図 3.2-5 に示すとおりである。昼間 1 時間値が 0.06ppm を超えた時間数は 500～700 時間の範囲内で変動がみられ、いずれの年度も環境基準を達成していない。

表 3.2-5 光化学オキシダントの測定結果(令和元年度)

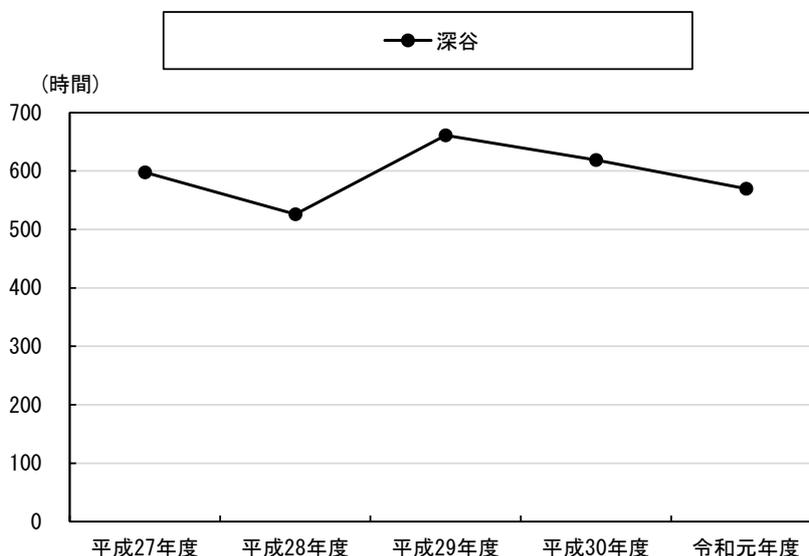
区分	測定局名	昼間の 1 時間値の 年平均値 (ppm)	昼間の 1 時間値の 最高値 (ppm)	昼間の 1 時間値 が0.06ppmを 超えた時間数 (時間)	昼間の 1 時間値 が0.12ppmを 超えた時間数 (時間)	環境 基準
一般局	深谷	0.037	0.146	570	1	×

注) 環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

環境基準：1時間値が0.06ppm以下であること

評価：昼間（5時～20時）の1時間値が0.06ppm以下であることを達成した場合は「○」、達成しない場合は「×」。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書（令和元年度）」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部）



出典：「平成27年度～令和元年度大気汚染物質の常時監視測定結果について」

(令和3年7月閲覧、埼玉県ホームページ)

図3.2-5 光化学オキシダントの経年変化(昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数)

(ウ) 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の令和元年度における測定結果は、表 3.2-6 に示すとおりであり、各測定局ともに環境基準を達成している。

平成 27 年度から令和元年度における浮遊粒子状物質の経年変化は、図 3.2-6 に示すとおりである。日平均値の 2%除外値は減少傾向であり、いずれの年度も環境基準を達成している。

表 3.2-6 浮遊粒子状物質の測定結果(令和元年度)

区分	測定局	年平均値 (mg/m ³)	日平均値の 2%除外値 (mg/m ³)	日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日 が2日以上 連続したこ との有無	日平均値が 0.10mg/m ³ を超えた日 数(日)	1時間値の 最高値 (mg/m ³)	環境基準	
							長期的 評価	短期的 評価
一般局	深谷	0.011	0.033	無	0	0.095	○	○
自排局	深谷原郷自排	0.014	0.033	無	0	0.066	○	○

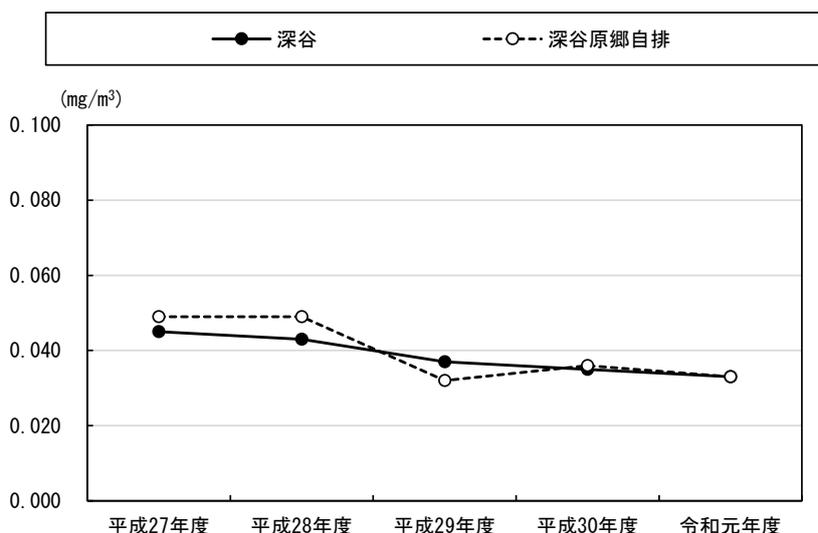
注) 環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

環境基準：1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。

長期的評価：「1時間値の1日平均値の2%除外値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1日平均値が0.10mg/m³を超える日が2日以上連続しないこと」を達成した場合は「○」、達成しない場合は「×」。

短期的評価：「1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること」を達成した場合は「○」、達成しない場合は「×」。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書(令和元年度)」(令和2年12月、埼玉県環境部)



出典：「平成27年度～令和元年度大気汚染物質の常時監視測定結果について」

(令和3年7月閲覧、埼玉県ホームページ)

図3.2-6 浮遊粒子状物質の経年変化(2%除外値)

(エ) 微小粒子状物質

微小粒子状物質の令和元年度における測定結果は、表 3.2-7 に示すとおりであり、各測定局ともに環境基準を達成している。

平成 27 年度から令和元年度における微小粒子状物質の経年変化は、図 3.2-7 に示すとおりである。各測定局ともに 1 日平均値の年間 98% 値は減少傾向であり、いずれの年度も環境基準を達成している。

表 3.2-7 微小粒子状物質の測定結果(令和元年度)

区分	測定局	日平均値の 年平均値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	日平均値の 年間98%値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	環境基準	
				長期的評価	短期的評価
一般局	深谷	10.2	25.4	○	○
自排局	深谷原郷自排	9.6	22.6	○	○

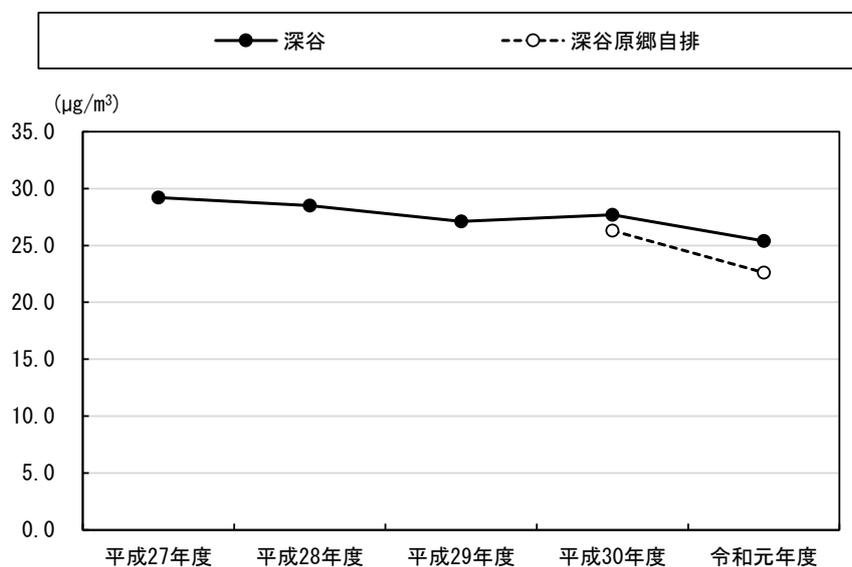
注) 環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

環境基準：1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であり、かつ、1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

長期的評価：1年平均値が $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であることを達成した場合は「○」、達成しない場合は「×」。ただし、1日のうち有効測定時間が20時間以上ある日が250日以上ある場合のみを評価対象とする。

短期的評価：1時間の1日平均値の98%値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であることを達成した場合は「○」、達成しない場合は「×」。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書（令和元年度）」（令和2年12月、埼玉県環境部）



出典：「平成27年度～令和元年度大気汚染物質の常時監視測定結果について」

(令和3年7月閲覧、埼玉県ホームページ)

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和3年7月閲覧、埼玉県ホームページ）

図3.2-7 微小粒子状物質の経年変化(年間98%値)

(オ) 炭化水素

非メタン炭化水素の令和元年度における測定結果は、表 3.2-8 に示すとおりであり、指針値を上回っている。

平成 27 年度から令和元年度における非メタン炭化水素の午前 6 時～9 時の年平均値は、図 3.2-8 に示すとおりである。年平均値は概ね横ばいで推移し、いずれの年度も指針値を上回っている。

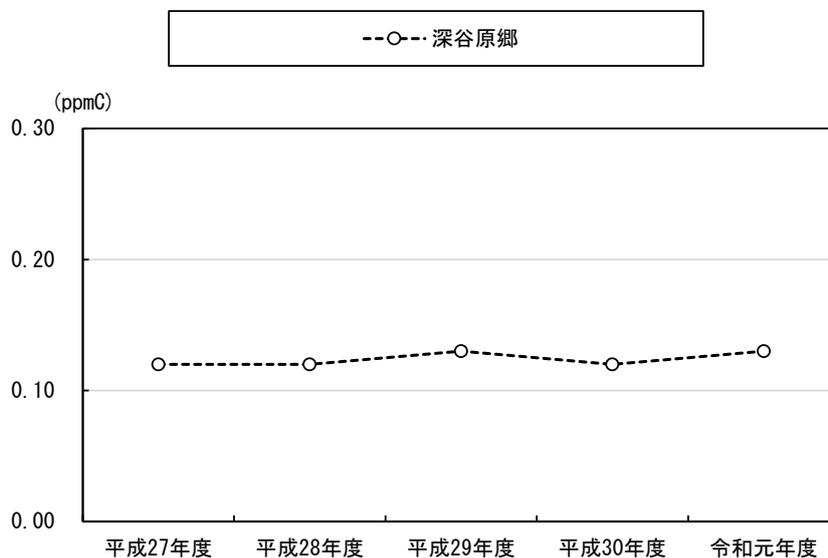
表 3.2-8 非メタン炭化水素の測定結果(令和元年度)

区分	測定局	午前6～9時の測定日数(日)	午前6～9時の年平均値(ppmC)	午前6～9時の3時間平均値の最高値(ppmC)	午前6～9時の3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数(日)	指針との比較
自排局	深谷原郷自排	358	0.12	0.91	9	×

注) 指針値は以下のとおりである。

指針値：午前6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値は、0.20ppmCから0.31ppmCの範囲にあることを達成した場合は「○」、達成しない場合は「×」。

出典：「大気汚染常時監視測定結果報告書（令和元年度）」（令和2年12月、埼玉県環境局）



出典：「平成27年度～令和元年度大気汚染物質の常時監視測定結果について」

(令和3年7月閲覧、埼玉県ホームページ)

図3.2-8 非メタン炭化水素の午前6時から9時の年平均値の経年変化

(カ) ダイオキシン類

ダイオキシン類の令和元年度における測定結果は、表 3.2-9 に示すとおりであり、環境基準を達成している。

平成 27 年度から令和元年度におけるダイオキシン類の経年変化は、図 3.2-9 に示すとおりである。年平均値は概ねほぼ横ばいで推移し、いずれの年度も環境基準を達成している。

表 3.2-9 ダイオキシン類の測定結果(令和元年度)

区分	調査地点	調査結果 (pg-TEQ/m ³)					環境基準
		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	平均値	
一般局	深谷	0.089	0.036	0.023	0.018	0.042	○
深谷市 測定地点	中通り自治会館	0.082	0.016	0.008	0.016	0.031	○
	櫛引東部自治会館	0.059	0.011	0.013	0.019	0.026	○
	岡部総合支所	0.072	0.021	0.011	0.020	0.031	○

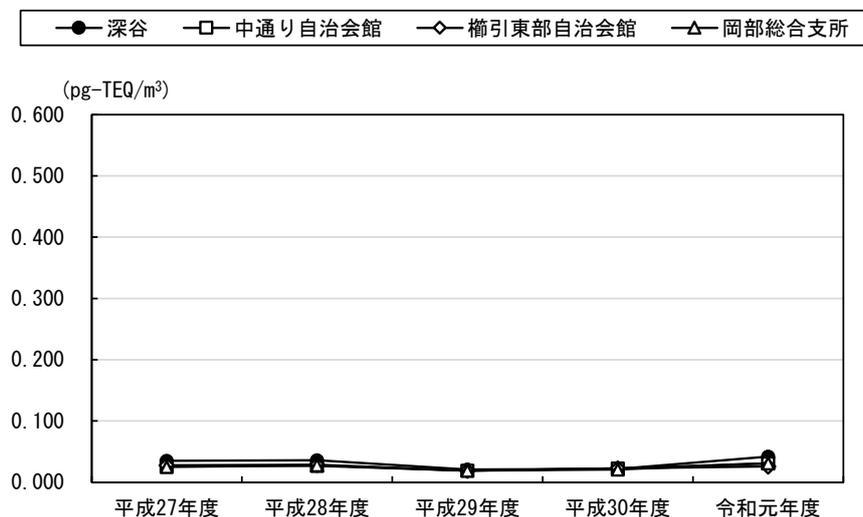
注1) 環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

環境基準：1年平均値が0.6 pg-TEQ/m³以下であること。

注2)ダイオキシン類濃度は、最も毒性が強い「2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン (2,3,7,8TCDD)」の毒性を単位換算した値。

出典：「令和元年度ダイオキシン類大気常時監視結果について」（令和2年8月、埼玉県環境部大気環境課）

「令和元年度版 深谷市の環境」（令和元年10月、深谷市環境水道環境課）



出典：「平成27年度～令和元年度ダイオキシン類大気常時監視結果について」

(令和3年7月閲覧、埼玉県ホームページ)

「平成27年度～令和元年度版 深谷市の環境」（令和元年10月、深谷市環境水道環境課）

図3.2-9 ダイオキシン類の経年変化(年間平均値)

ウ 騒音・低周波音

(ア) 環境騒音

対象事業実施区域及びその周囲において、環境騒音の調査は行われていない。

(イ) 自動車交通騒音

調査範囲及びその周辺における令和元年度の自動車交通騒音の環境基準適合状況は表 3.2-10 に、自動車交通騒音の調査地点は図 3.2-10 に示すとおりである。自動車交通騒音は、環境基準を達成していない地点が 1 地点、昼夜ともに環境基準を達成していない区間が 5 区間ある。

表 3.2-10(1) 自動車交通騒音の環境基準適合状況(点的評価)

No.	路線名	測定地点	地域の 類型	車 線 数	幹線道路の 近接空間	等価騒音レベル (dB)			
						昼 間	環境基準 達成	夜 間	環境基準 達成
1	一般国道17号	深谷市岡	B	2	近接空間	72	×	69	×

注1)No.は図3.2-10と対応している。

注2)環境基準及び評価方法は以下のとおりである。

幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準：昼間70dB、夜間65dB

注3)「幹線道路の近接空間」欄の「近接空間」は、近接空間であることを示す。

注4)「環境基準達成」欄の「○」は、環境基準を達成していること、「×」は環境基準を達成していないことを示す。

出典：「平成30年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」(令和2年4月、埼玉県環境部)

表 3.2-10(2) 自動車騒音の環境適合状況(面的評価)

No.	評価対象道路	評価区間		測定地点における等価騒音レベル (dB)		評価対象住居等戸数 (戸)	昼間、夜間とも基準値以下 (戸)	昼間のみ基準値以下 (戸)	夜間のみ基準値以下 (戸)	昼間・夜間とも基準超過 (戸)
				昼間	夜間					
2	一般国道17号	深谷市東方	深谷市杓掛	<u>72</u>	<u>69</u>	61	40	13	0	8
3	一般国道17号	深谷市普濟寺	深谷市杓掛	68	65	133	132	1	0	0
4	一般国道140号	深谷市長在家	深谷市田中	<u>72</u>	<u>67</u>	18	16	0	0	2
5	一般国道140号	深谷市田中	深谷市黒田	<u>73</u>	<u>70</u>	213	138	29	0	46
6	県道伊勢崎深谷線	深谷市中瀬	深谷市深谷町6	67	61	431	430	0	0	1
7	県道深谷東松山線	深谷市仲町8	深谷市幡羅町1-10	63	58	553	553	0	0	0
8	県道深谷寄居線	深谷市西島	深谷市武蔵野	69	63	630	626	0	4	0
9	県道深谷嵐山線	深谷市人見	深谷市田中	70	65	182	182	0	0	0
10	県道熊谷児玉線	深谷市折之口	深谷市今泉	68	63	244	244	0	0	0
11	県道花園本庄線	深谷市針ヶ谷	深谷市榛沢	67	59	171	171	0	0	0
12	県道小前田児玉線	深谷市小前田	深谷市武蔵野	70	<u>67</u>	232	196	34	0	2
13	県道 新野岡部停車場線	深谷市岡	深谷市岡	57	51	65	65	0	0	0
14	県道針ヶ谷岡線	深谷市針ヶ谷	深谷市岡	63	55	309	309	0	0	0
15	市道幹-3	深谷市上野台	深谷市上野台	<u>71</u>	63	605	585	0	20	0

注1)No.は図3.2-10と対応している。

注2)下線は環境基準を超過していることを示す。

出典：「平成30年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」(令和2年4月、埼玉県環境部)

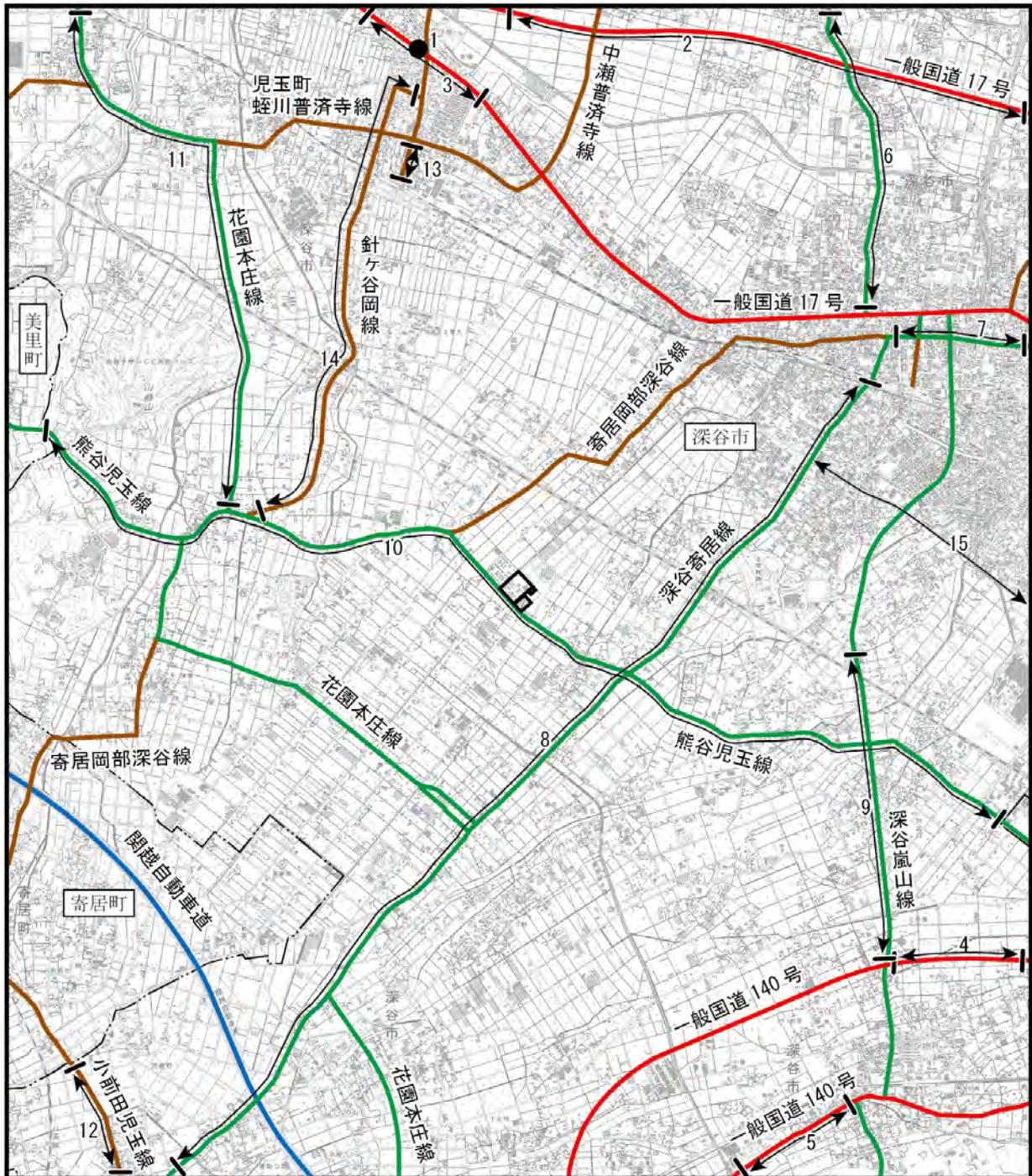


図3.2-10 自動車騒音調査地点位置図

凡例

- : 対象事業実施区域
- : 市町界
- : 高速自動車国道
- : 一般国道
- : 主要地方道
- : 一般県道
- : 自動車交通騒音調査地点 (点的評価)
- ↔ : 自動車交通騒音評価区間 (面的評価)



1:50,000

0 1 2km

出典：「平成30年度 自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」
(令和2年4月、埼玉県環境部)

この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

(ウ) 低周波音

対象事業実施区域及びその周囲において、低周波音の調査は行われていない。

エ 振動

(ア) 環境振動

対象事業実施区域及びその周囲において、環境振動の調査は行われていない。

(イ) 道路交通振動

対象事業実施区域及びその周囲において、道路交通振動の調査は行われていない。

オ 悪臭

対象事業実施区域及びその周囲において、悪臭の調査は行われていない。

(2) 水質、底質、水象等の状況

ア 水象

対象事業実施区域及びその周囲における河川等の状況は、図 3.2-11 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲には、一級河川の福川及び唐沢川が流れている。対象事業実施区域の西側には、西川が流れている。

イ 水質

対象事業実施区域及びその周囲における水質測定地点の概要は表 3.2-11 に、水質測定地点は図 3.2-11 に示すとおりである。

令和元年度における生活環境項目の測定結果は表 3.2-12 に示すとおりである。

令和元年度における健康項目の測定結果は、表 3.2-13 に示すとおりである。

表 3.2-11 水質測定地点の概要

河川名	測定地点	所在地	測定対象	環境基準類型	
唐沢川	森下橋	深谷市	生活環境項目 (大腸菌群数を除く)	B	生物B
福川	福川橋			B	生物B
	田中橋			B	生物B
志戸川	落合橋下流			—	—
上唐沢川	呑沢橋			B	生物B
岡部川	忠度橋			—	—
前の川排水路	上野台地内			—	—
針ヶ谷排水路	沓掛地内			—	—
櫛挽排水路	田中地内			—	—

出典：「令和元年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（令和3年3月、埼玉県）

「令和元年度版深谷市の環境」（令和2年10月、深谷市）

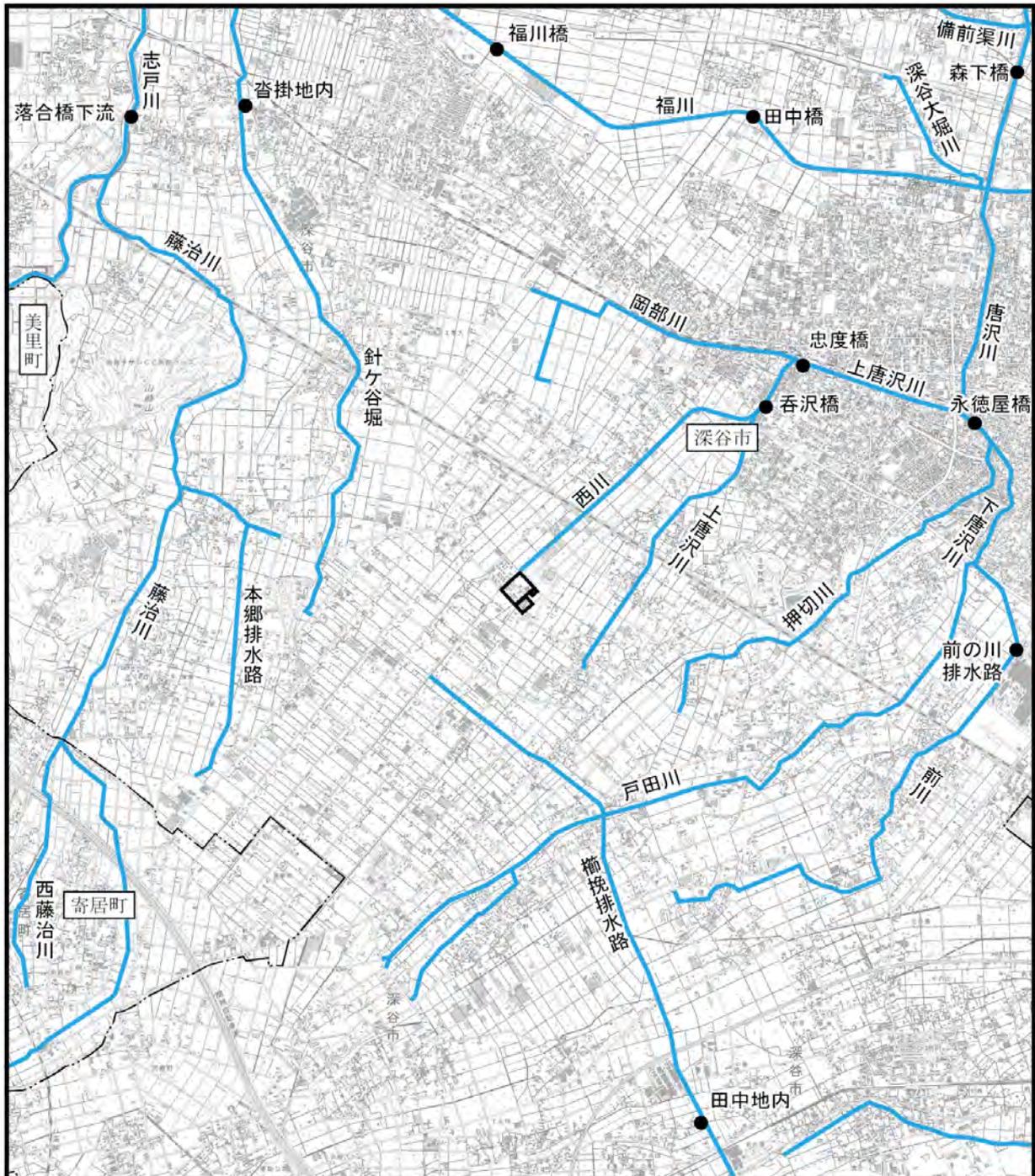
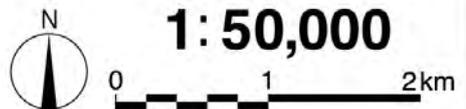


図3.2-11 河川等及び水質測定地点位置図

凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 市町界
- : 河川、水路等

出典：「令和元年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」
 (令和3年3月、埼玉県)
 「令和元年度版深谷市の環境」(令和2年10月、深谷市)



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

表 3.2-12(1) 水質測定結果(生活環境項目：令和元年度)

項目	測定地点	唐沢川 森下橋	福川 福川橋	福川 田中橋	環境基準
水素イオン濃度[pH]		8.0	7.2	7.1	6.5以上8.5以下
生物化学的酸素要求量[BOD] (mg/L)		1.7	2.9	4.4	3以下
浮遊物質[SS] (mg/L)		8	8	10	25以上
溶存酸素量[DO] (mg/L)		10	5.4	7.8	5以上
大腸菌群数(MPN/100mL)		160,000	-	-	1000以下

出典：「令和元年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)
「令和元年度環境測定結果」(令和3年7月、深谷市ホームページ)

表 3.2-12(2) 水質測定結果(生活環境項目：令和元年度)

項目	測定地点	志戸川 落合橋下流	上唐沢川 呑沢橋	岡部川 忠度橋	環境基準
水素イオン濃度[pH]		8.0	8.2	7.4	-
生物化学的酸素要求量[BOD] (mg/L)		2.0	2.8	25.7	-
浮遊物質[SS] (mg/L)		6.5	8.2	13.5	-
溶存酸素量[DO] (mg/L)		9.7	9.4	5.0	-
大腸菌群数(MPN/100mL)		-	-	-	-

出典：「令和元年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)
「令和元年度環境測定結果」(令和3年7月、深谷市ホームページ)

表 3.2-12(3) 水質測定結果(生活環境項目：令和元年度)

項目	測定地点	前の川排水路 上野台地内	針ヶ谷排水路 沓掛地内	櫛挽排水路 田中地内	環境基準
水素イオン濃度[pH]		8.2	8.9	8.8	-
生物化学的酸素要求量[BOD] (mg/L)		1.4	2.2	1.5	-
浮遊物質[SS] (mg/L)		4.8	5.3	4.2	-
溶存酸素量[DO] (mg/L)		9.2	10.9	12.8	-
大腸菌群数(MPN/100mL)		-	-	-	-

出典：「令和元年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)
「令和元年度環境測定結果」(令和3年7月、深谷市ホームページ)

表 3.2-13 水質測定結果(健康項目：令和元年度)

測定地点	項目	測定結果	環境基準
唐沢川 森下橋 (mg/L)	カドミウム	<0.0003	0.003以下
	全シアン	<0.1	検出されないこと
	鉛	<0.001	0.01以下
	六価クロム	<0.005	0.05以下
	砒素	<0.001	0.01以下
	総水銀	<0.0005	0.0005以下
	アルキル水銀	—	検出されないこと
	P C B	<0.0005	検出されないこと
	ジクロロメタン	<0.002	0.02以下
	四塩化炭素	<0.0002	0.002以下
	1,2-ジクロロエタン	<0.0004	0.004以下
	1,1-ジクロロエチレン	<0.002	0.1以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	0.04以下
	1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	1以下
	1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	0.006以下
	トリクロロエチレン	<0.001	0.01以下
	テトラクロロエチレン	<0.0005	0.01以下
	1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	0.002以下
	チウラム	<0.0006	0.006以下
	シマジン	<0.0003	0.003以下
	チオベンカルブ	<0.002	0.02以下
	ベンゼン	<0.001	0.01以下
	セレン	<0.001	0.01以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	3.9	10以下
	ふつ素	0.06	0.8以下
	ほう素	0.07	1以下
	1,4-ジオキサン	<0.005	0.05以下

出典：「令和元年度 公共用水域及び地下水の水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

ウ 底質

対象事業実施区域及びその周囲において、底質の調査は行われていない。

エ 地下水

対象事業実施区域及びその周囲における令和元年度の地下水の概況調査結果は表 3.2-14 に、周辺地区調査結果は表 3.2-15 に、継続監視調査結果は表 3.2-16 に示すとおりである。

表 3.2-14(1) 地下水の概況調査結果(令和元年度)

項目	調査地点		環境基準
	深谷市榛沢新田	深谷市柏合	
井戸深度 (m)	6.39	6	—
浅深井戸の別	浅	浅	—
用途	生活用水	その他	—
カドミウム	mg/L < 0.0003	< 0.0003	0.003以下
全シアン	mg/L < 0.1	< 0.1	不検出
鉛	mg/L < 0.001	< 0.001	0.01以下
六価クロム	mg/L < 0.005	< 0.005	0.05以下
砒素	mg/L < 0.001	< 0.001	0.01以下
総水銀	mg/L < 0.0005	< 0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L -	-	不検出
PCB	mg/L < 0.0005	< 0.0005	不検出
ジクロロメタン	mg/L < 0.002	< 0.002	0.02以下
四塩化水素	mg/L < 0.0002	< 0.0002	0.002以下
クロロエチレン	mg/L < 0.0002	< 0.0002	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L < 0.0004	< 0.0004	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L < 0.002	< 0.002	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L < 0.002	< 0.002	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L < 0.002	< 0.002	—
1,2-ジクロロエチレン	mg/L < 0.004	< 0.004	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L < 0.0005	< 0.0005	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L < 0.0006	< 0.0006	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L < 0.001	< 0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L < 0.0005	< 0.0005	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L < 0.0002	< 0.0002	0.002以下
チウラム	mg/L < 0.0006	< 0.0006	0.006以下
シマジン	mg/L < 0.0003	< 0.0003	0.003以下
チオペンカルブ	mg/L < 0.002	< 0.002	0.02以下
ベンゼン	mg/L < 0.001	< 0.001	0.01以下
セレン	mg/L < 0.001	< 0.001	0.01以下
亜硝酸性窒素	mg/L < 0.005	< 0.005	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L 16	9.1	10以下
ふっ素	mg/L 0.03	0.1	0.8以下
ほう素	mg/L < 0.02	0.04	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L < 0.005	< 0.005	0.05以下

出典：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

表 3.2-14(2) 地下水の概況調査結果(令和元年度)

項目	調査地点		深谷市長在家	深谷市武蔵野	環境基準
井戸深度 (m)			30	9.5	—
浅深井戸の別			不明	浅	—
用途			生活用水	その他	—
カドミウム	mg/L	< 0.0003	< 0.0003		0.003以下
全シアン	mg/L	< 0.1	< 0.1		不検出
鉛	mg/L	< 0.001	< 0.001		0.01以下
六価クロム	mg/L	< 0.005	< 0.005		0.05以下
砒素	mg/L	0.001	< 0.001		0.01以下
総水銀	mg/L	< 0.0005	< 0.0005		0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	-	-		不検出
PCB	mg/L	< 0.0005	< 0.0005		不検出
ジクロロメタン	mg/L	< 0.002	< 0.002		0.02以下
四塩化水素	mg/L	< 0.0002	< 0.0002		0.002以下
クロロエチレン	mg/L	< 0.0002	< 0.0002		0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	< 0.0004	< 0.0004		0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.002	< 0.002		0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.002	< 0.002		—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.002	< 0.002		—
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.004	< 0.004		0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	< 0.0005	< 0.0005		1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	< 0.0006	< 0.0006		0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	< 0.001	< 0.001		0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	< 0.0005	< 0.0005		0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	< 0.0002	< 0.0002		0.002以下
チウラム	mg/L	< 0.0006	< 0.0006		0.006以下
シマジン	mg/L	< 0.0003	< 0.0003		0.003以下
チオペンカルブ	mg/L	< 0.002	< 0.002		0.02以下
ベンゼン	mg/L	< 0.001	< 0.001		0.01以下
セレン	mg/L	< 0.001	< 0.001		0.01以下
亜硝酸性窒素	mg/L	< 0.005	< 0.005		—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.21	0.16		10以下
ふっ素	mg/L	0.17	0.12		0.8以下
ほう素	mg/L	< 0.02	< 0.02		1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	< 0.005	< 0.005		0.05以下

出典：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

表 3.2-15(1) 地下水の周辺地区調査結果(令和元年度)

項目	調査地点	深谷市	深谷市	深谷市	環境基準
		榛沢新田	榛沢新田	榛沢新田	
井戸深度 (m)		7	不明	6.39	—
浅深井戸の別		浅	浅	浅	—
用途		生活用水	生活用水	生活用水	—
カドミウム	mg/L	-	-	-	0.003以下
全シアン	mg/L	-	-	-	不検出
鉛	mg/L	-	-	-	0.01以下
六価クロム	mg/L	-	-	-	0.05以下
砒素	mg/L	-	-	-	0.01以下
総水銀	mg/L	-	-	-	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	-	-	-	不検出
PCB	mg/L	-	-	-	不検出
ジクロロメタン	mg/L	-	-	-	0.02以下
四塩化水素	mg/L	-	-	-	0.002以下
クロロエチレン	mg/L	-	-	-	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	-	-	-	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	—
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	-	-	-	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	-	-	-	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	-	-	-	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	-	-	-	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	-	-	-	0.002以下
チウラム	mg/L	-	-	-	0.006以下
シマジン	mg/L	-	-	-	0.003以下
チオベンカルブ	mg/L	-	-	-	0.02以下
ベンゼン	mg/L	-	-	-	0.01以下
セレン	mg/L	-	-	-	0.01以下
亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	-	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	5.8	18	21	10以下
ふっ素	mg/L	-	-	-	0.8以下
ほう素	mg/L	-	-	-	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	-	-	-	0.05以下

出典：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

表 3.2-15(2) 地下水の周辺地区調査結果(令和元年度)

項目	調査地点	深谷市	深谷市	深谷市	環境基準
		榛沢新田	榛沢新田	榛沢新田	
井戸深度 (m)		5~6	不明	5~6	—
浅深井戸の別		浅	不明	浅	—
用途		生活用水	生活用水	生活用水	—
カドミウム	mg/L	-	-	-	0.003以下
全シアン	mg/L	-	-	-	不検出
鉛	mg/L	-	-	-	0.01以下
六価クロム	mg/L	-	-	-	0.05以下
砒素	mg/L	-	-	-	0.01以下
総水銀	mg/L	-	-	-	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	-	-	-	不検出
PCB	mg/L	-	-	-	不検出
ジクロロメタン	mg/L	-	-	-	0.02以下
四塩化水素	mg/L	-	-	-	0.002以下
クロロエチレン	mg/L	-	-	-	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	-	-	-	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	—
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	-	-	-	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	-	-	-	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	-	-	-	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	-	-	-	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	-	-	-	0.002以下
チウラム	mg/L	-	-	-	0.006以下
シマジン	mg/L	-	-	-	0.003以下
チオベンカルブ	mg/L	-	-	-	0.02以下
ベンゼン	mg/L	-	-	-	0.01以下
セレン	mg/L	-	-	-	0.01以下
亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	-	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	18	25	10	10以下
ふっ素	mg/L	-	-	-	0.8以下
ほう素	mg/L	-	-	-	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	-	-	-	0.05以下

出典：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

表 3.2-15(3) 地下水の周辺地区調査結果(令和元年度)

項目		調査地点		環境基準
		寄居町用土	寄居町用土	
井戸深度 (m)		7.5	不明	—
浅深井戸の別		浅	浅	—
用途		生活用水	その他	—
カドミウム	mg/L	-	-	0.003以下
全シアン	mg/L	-	-	不検出
鉛	mg/L	-	-	0.01以下
六価クロム	mg/L	-	-	0.05以下
砒素	mg/L	-	-	0.01以下
総水銀	mg/L	-	-	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	-	-	不検出
PCB	mg/L	-	-	不検出
ジクロロメタン	mg/L	-	-	0.02以下
四塩化水素	mg/L	-	-	0.002以下
クロロエチレン	mg/L	-	-	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	-	-	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	—
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	-	-	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	-	-	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	-	-	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	-	-	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	-	-	0.002以下
チウラム	mg/L	-	-	0.006以下
シマジン	mg/L	-	-	0.003以下
チオペンカルブ	mg/L	-	-	0.02以下
ベンゼン	mg/L	-	-	0.01以下
セレン	mg/L	-	-	0.01以下
亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	12	4	10以下
ふっ素	mg/L	-	-	0.8以下
ほう素	mg/L	-	-	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	-	-	0.05以下

出典：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

表 3.2-15(4) 地下水の周辺地区調査結果(令和元年度)

項目		調査地点		環境基準
		寄居町用土	寄居町用土	
井戸深度 (m)		4	3	—
浅深井戸の別		浅	浅	—
用途		生活用水	生活用水	—
カドミウム	mg/L	-	-	0.003以下
全シアン	mg/L	-	-	不検出
鉛	mg/L	-	-	0.01以下
六価クロム	mg/L	-	-	0.05以下
砒素	mg/L	-	-	0.01以下
総水銀	mg/L	-	-	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	-	-	不検出
PCB	mg/L	-	-	不検出
ジクロロメタン	mg/L	-	-	0.02以下
四塩化水素	mg/L	-	-	0.002以下
クロロエチレン	mg/L	-	-	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	-	-	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	—
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	-	-	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	-	-	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	-	-	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	-	-	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	-	-	0.002以下
チウラム	mg/L	-	-	0.006以下
シマジン	mg/L	-	-	0.003以下
チオペンカルブ	mg/L	-	-	0.02以下
ベンゼン	mg/L	-	-	0.01以下
セレン	mg/L	-	-	0.01以下
亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	7.5	8.1	10以下
ふっ素	mg/L	-	-	0.8以下
ほう素	mg/L	-	-	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	-	-	0.05以下

出典：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

表 3.2-16(1) 地下水の継続監視調査結果(令和元年度)

項目	調査地点	深谷市	深谷市	深谷市	環境基準
		折之口	人見	櫛引	
井戸深度 (m)		3.51	不明	6.08	—
浅深井戸の別		浅	深	浅	—
用途		生活用水	その他	生活用水	—
カドミウム	mg/L	-	-	-	0.003以下
全シアン	mg/L	-	-	-	不検出
鉛	mg/L	-	-	-	0.01以下
六価クロム	mg/L	-	-	-	0.05以下
砒素	mg/L	-	-	-	0.01以下
総水銀	mg/L	-	-	-	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	-	-	-	不検出
PCB	mg/L	-	-	-	不検出
ジクロロメタン	mg/L	-	-	-	0.02以下
四塩化水素	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	-	0.002以下
クロロエチレン	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	-	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	-	-	-	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.01	< 0.01	-	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	-	—
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.014	0.009	-	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	< 0.10	< 0.1	-	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	-	-	-	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.002	< 0.001	-	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.018	< 0.001	-	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	-	-	-	0.002以下
チウラム	mg/L	-	-	-	0.006以下
シマジン	mg/L	-	-	-	0.003以下
チオベンカルブ	mg/L	-	-	-	0.02以下
ベンゼン	mg/L	-	-	-	0.01以下
セレン	mg/L	-	-	-	0.01以下
亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	-	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	73	10以下
ふっ素	mg/L	-	-	-	0.8以下
ほう素	mg/L	-	-	-	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	-	-	-	0.05以下

出典：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

表 3.2-16(2) 地下水の継続監視調査結果(令和元年度)

項目	調査地点			環境基準	
	深谷市 櫛引	深谷市 大谷	深谷市 山崎		
井戸深度 (m)	90	4.1	6.4	—	
浅深井戸の別	深	浅	浅	—	
用途	工業用水	その他	生活用水	—	
カドミウム	mg/L	-	-	0.003以下	
全シアン	mg/L	-	-	不検出	
鉛	mg/L	-	-	0.01以下	
六価クロム	mg/L	-	-	0.05以下	
砒素	mg/L	-	-	0.01以下	
総水銀	mg/L	-	-	0.0005以下	
アルキル水銀	mg/L	-	-	不検出	
PCB	mg/L	-	-	不検出	
ジクロロメタン	mg/L	-	-	0.02以下	
四塩化水素	mg/L	-	-	0.002以下	
クロロエチレン	mg/L	-	-	0.002以下	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	-	-	0.004以下	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	0.1以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	—	
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	—	
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	0.04以下	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	-	-	1以下	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	-	-	0.006以下	
トリクロロエチレン	mg/L	-	-	0.01以下	
テトラクロロエチレン	mg/L	-	-	0.01以下	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	-	-	0.002以下	
チウラム	mg/L	-	-	0.006以下	
シマジン	mg/L	-	-	0.003以下	
チオベンカルブ	mg/L	-	-	0.02以下	
ベンゼン	mg/L	-	-	0.01以下	
セレン	mg/L	-	-	0.01以下	
亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	—	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	12	53	36	10以下
ふっ素	mg/L	-	-	-	0.8以下
ほう素	mg/L	-	-	-	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	-	-	-	0.05以下

出典：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

表 3.2-16(3) 地下水の継続監視調査結果(令和元年度)

項目	調査地点		環境基準	
	深谷市針ヶ谷	深谷市武蔵野		
井戸深度 (m)	7.5	4.69	—	
浅深井戸の別	浅	浅	—	
用途	生活用水	生活用水	—	
カドミウム	mg/L	-	0.003以下	
全シアン	mg/L	-	不検出	
鉛	mg/L	-	0.01以下	
六価クロム	mg/L	-	0.05以下	
砒素	mg/L	-	0.01以下	
総水銀	mg/L	-	0.0005以下	
アルキル水銀	mg/L	-	不検出	
PCB	mg/L	-	不検出	
ジクロロメタン	mg/L	-	0.02以下	
四塩化水素	mg/L	-	0.002以下	
クロロエチレン	mg/L	-	0.002以下	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	-	0.004以下	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	0.1以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	—	
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	—	
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	0.04以下	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	-	1以下	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	-	0.006以下	
トリクロロエチレン	mg/L	-	0.01以下	
テトラクロロエチレン	mg/L	-	0.01以下	
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	-	0.002以下	
チウラム	mg/L	-	0.006以下	
シマジン	mg/L	-	0.003以下	
チオペンカルブ	mg/L	-	0.02以下	
ベンゼン	mg/L	-	0.01以下	
セレン	mg/L	-	0.01以下	
亜硝酸性窒素	mg/L	-	—	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	19	68	10以下
ふっ素	mg/L	-	-	0.8以下
ほう素	mg/L	-	-	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	-	-	0.05以下

出典：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

表 3.2-16(4) 地下水の継続監視調査結果(令和元年度)

項目		調査地点		環境基準
		寄居町用土	寄居町用土	
井戸深度 (m)		4.2	6.0	—
浅深井戸の別		浅	浅	—
用途		一般飲用	生活用水	—
カドミウム	mg/L	-	-	0.003以下
全シアン	mg/L	-	-	不検出
鉛	mg/L	-	-	0.01以下
六価クロム	mg/L	-	-	0.05以下
砒素	mg/L	-	-	0.01以下
総水銀	mg/L	-	-	0.0005以下
アルキル水銀	mg/L	-	-	不検出
PCB	mg/L	-	-	不検出
ジクロロメタン	mg/L	-	-	0.02以下
四塩化水素	mg/L	-	-	0.002以下
クロロエチレン	mg/L	-	-	0.002以下
1,2-ジクロロエタン	mg/L	-	-	0.004以下
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	0.1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	—
トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	—
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	-	-	0.04以下
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	-	-	1以下
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	-	-	0.006以下
トリクロロエチレン	mg/L	-	-	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	-	-	0.01以下
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	-	-	0.002以下
チウラム	mg/L	-	-	0.006以下
シマジン	mg/L	-	-	0.003以下
チオペンカルブ	mg/L	-	-	0.02以下
ベンゼン	mg/L	-	-	0.01以下
セレン	mg/L	-	-	0.01以下
亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	6	7	10以下
ふっ素	mg/L	-	-	0.8以下
ほう素	mg/L	-	-	1以下
1,4-ジオキサン	mg/L	-	-	0.05以下

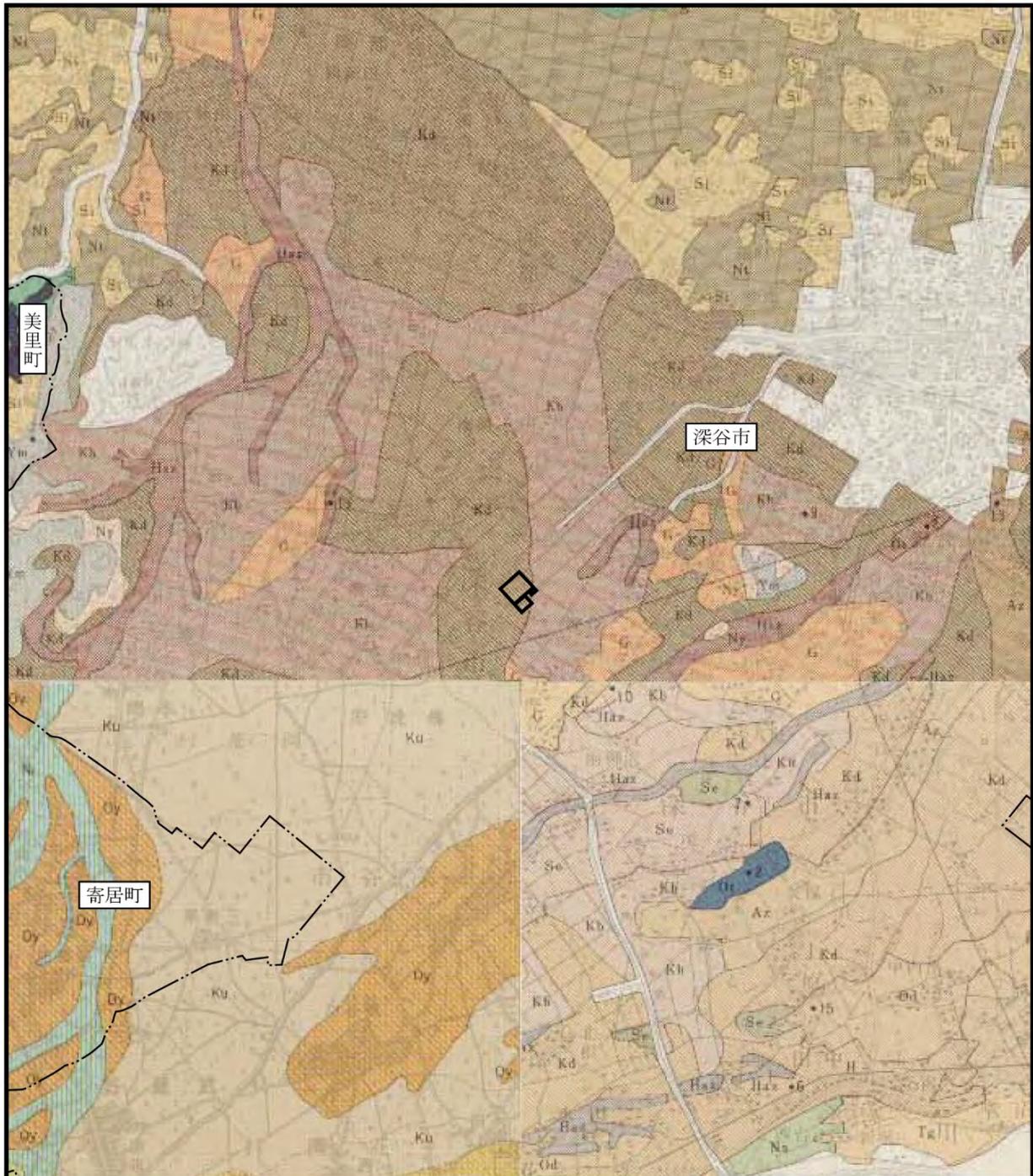
出典：「令和元年度公共用水域水質測定結果」(令和3年3月、埼玉県環境部)

(3) 土壌及び地盤の状況

ア 土壌の状況

事業実施区域及びその周囲の表層土壌の分布状況は、図 3.2-12 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲の土壌は、淡色黒ボク土壌（児玉統、久城統）、黒ボク土壌（胃山統）、火山灰土壌（櫛挽統）が分布している。



凡 例

□ : 対象事業実施区域

— : 市町界

【高崎・深谷】

片柳統

青山統

清水統

久城統

新戒統

児玉統

榛沢統

仁手統

【熊谷】

久城統

小前田統

青瀬統

児玉統

長瀬統

千代統

図3.2-12 土壌図

【寄居】

大竹統

下大谷統

榛沢統

青山統

勅使河原統

韮谷統

大谷統

櫛挽統

大野原統

出典：「土壌図（熊谷）」（昭和49年3月、埼玉県）
 「土壌図（寄居）」（昭和39年3月、埼玉県）
 「土壌図（高崎・深谷）」（昭和54年3月、埼玉県）



1:50,000

0 1 2km

この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

イ 土壌汚染

(ア) 要措置区域及び形質変更時要届出区域

事業実施区域及びその周囲における土壌汚染対策法（平成 14 年 5 月、年法律第 53 号）に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定状況は表 3.2-17 に示すとおりである。

なお、対象事業実施区域に要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定はない。

表 3.2-17 土壌汚染対策法に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定状況

整理番号	指定年月日	指定番号	区域の種類	区域の所在場所	区域の面積 (m ²)	基準に適合しない特定有害物質
整-27-7	H27年7月14日	指-101号	要措置区域	深谷市田谷	287.0	砒素及びその化合物、ふっ素及びその化合物
整-27-8	H27年7月14日	指-102号	形質変更時要届出区域	深谷市田谷	87.0	鉛及びその化合物

出典：「指定区域について」（令和3年7月閲覧、埼玉県ホームページ）

(イ) ダイオキシン類

埼玉県では、土壌のダイオキシン類の常時監視測定（一般環境把握調査及び発生源周辺状況調査）を行っている。令和元年度は深谷市内の 8 地点で発生源周辺状況調査が行われている。

測定結果は表 3.2-18 に示すとおりであり、すべての地点で環境基準を達成している。

表 3.2-18 ダイオキシン類発生源周辺状況調査結果

単位：pg-TEQ/g

調査地点		調査結果	環境基準
深谷市	人見	5.2	1,000
	榎合	2.9	
	人見境	2.1	
	境	0.72	
	榎引	3.9	
	柏合	8.3	
	岡部	5.1	
	榎挽	3.5	

出典：「土壌常時監視結果 ダイオキシン類」（令和3年7月閲覧、埼玉県ホームページ）

ウ 地盤の状況

対象事業実施区域及びその周囲における平成28年1月1日から令和3年1月1日までの地盤沈下の調査結果は表3.2-19に、調査地点は図3.2-13に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲における過去5年間の地盤沈下の最大変動量は-13.3～-5.6mmであった。

なお、対象事業実施区域に最も近い調査地点（No.1）の調査開始年からの変動量は-5.2mmであった。

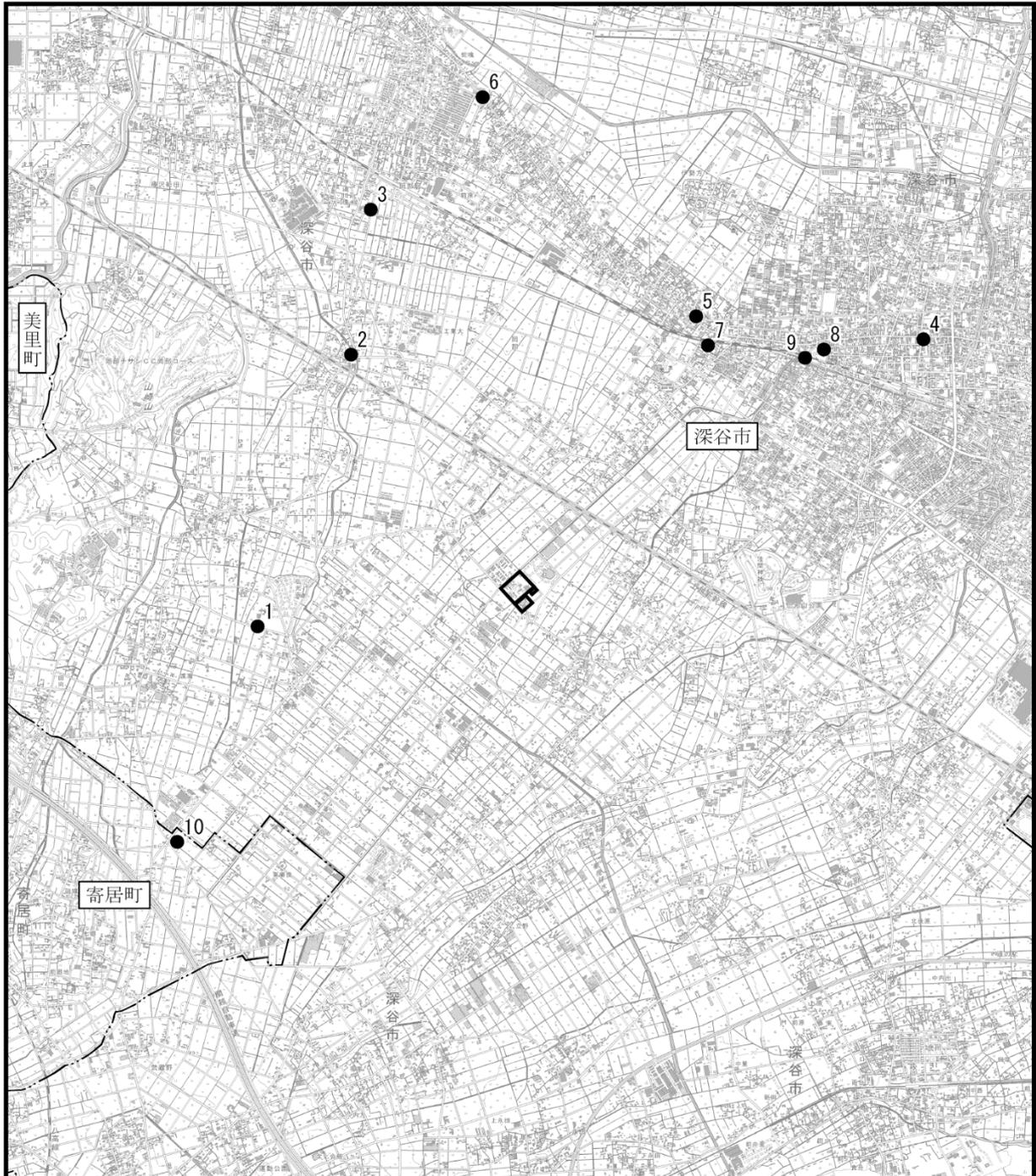
表 3.2-19 地盤沈下の状況(水準測量結果)

No.	調査地点	調査開始年月日	各年別変動量(mm)					過去5年間の変動量(mm)	調査開始年からの変動量(mm)
			平成28.1.1.～平成29.1.1	平成29.1.1～平成30.1.1	平成30.1.1～平成31.1.1	平成31.1.1～令和2.1.1	令和2.1.1～令和3.1.1		
			1	針ヶ谷506	54.1.1	-	1.9		
2	山河636-1	54.1.1	-	1.8	-2.7	-0.2	-1.0	-	-13.1
3	岡2381-1	54.1.1	-	1.9	-1.8	-1.3	-1.7	-	-28.4
4	本住町6	18.1.1	-2.4	-0.8	-3.1	-1.3	-0.5	-8.1	-21.4
5	宿根1	23.1.1	-3.1	-1.3	-1.9	-1.0	-2.0	-9.3	-26.9
6	岡183-3地先	54.1.1	-4.7	0.4	-2.3	-4.3	-2.4	-13.3	-52.9
7	見晴台	18.1.1	-3.1	-1.1	-2.8	0.8	-2.5	-8.7	-24.3
8	田所町8	18.1.1	-2.6	-0.9	-3.6	-1.2	-1.3	-9.6	-25.7
9	田所町18-40	21.1.1	-2.5	-1.0	-4.3	-0.7	-	-	-
10	用土4318-12	54.1.1	-4.2	2.8	-3.3	1.9	-2.8	-5.6	-8.7

注1)No.は図3.2-13と対応している。

注2)No.1,2,3については、平成28年度から再観測している。No.9は令和2年度結果に記載がなかった。

出典：「水準測量成果表等について」（令和4年1月閲覧、埼玉県ホームページ）

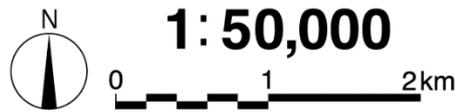


凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 市町界
- : 調査地点

図3.2-13 地盤沈下調査地点位置図

出典：「水準測量成果表等について」
 (令和3年7月閲覧、埼玉県ホームページ)



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

(4) 地形及び地質の状況

ア 地形の状況

対象事業実施区域及びその周囲の地形分類は、図 3.2-14 に示すとおりである。

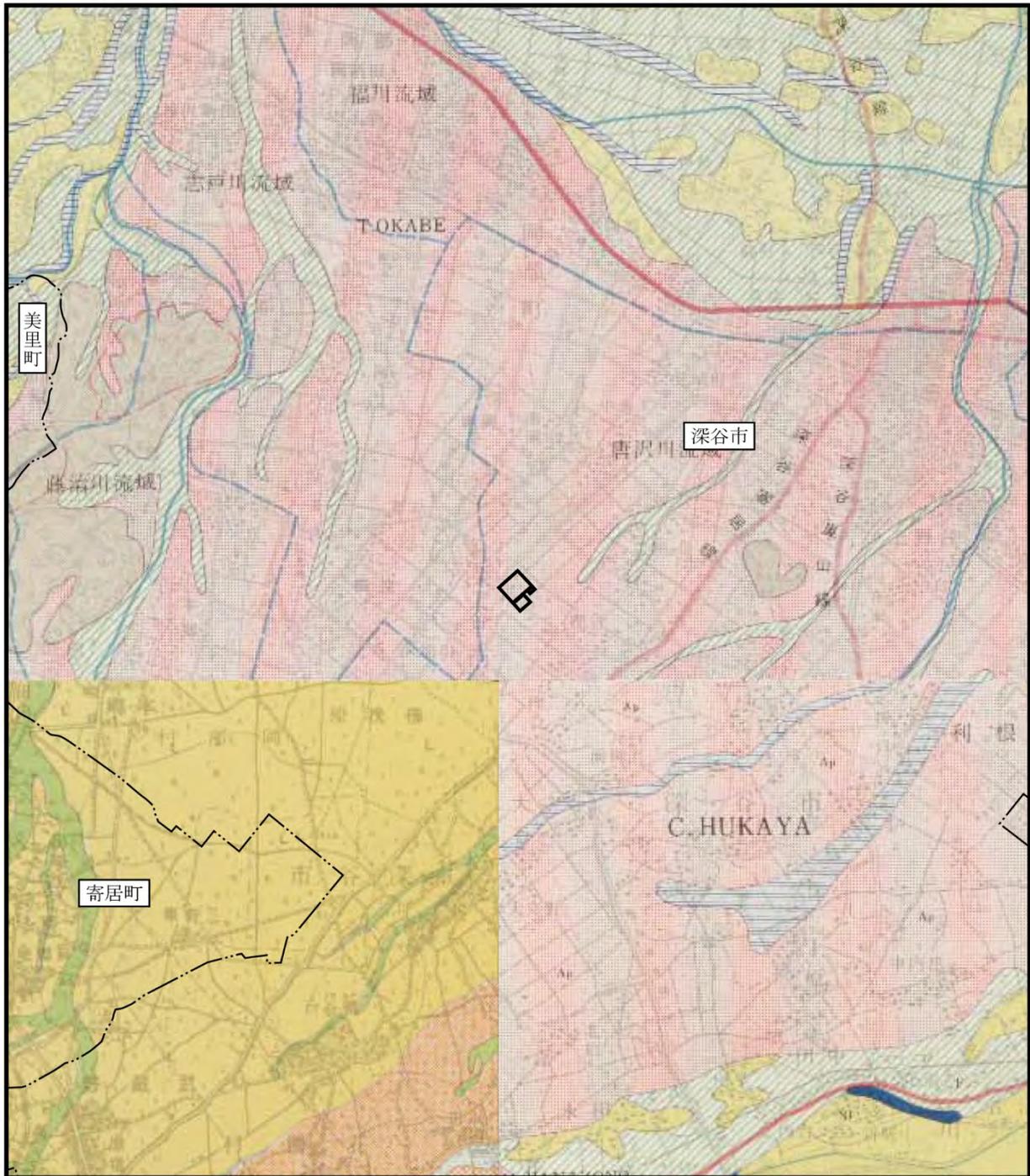
対象事業実施区域及びその周囲は、火山灰台地、小扇状地・沖堆積となっている。

また、対象事業実施区域及びその周囲における重要な地形として、寄居付近の河成段丘が存在する。重要な地形の位置図は、図 3.2-15 に示すとおりである。

イ 地質の状況

対象事業実施区域及びその周辺の表層地質は、図 3.2-16 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲は、ローム、埋設ローム、粘土・砂礫の互層（埼玉層）となっている。



凡 例 : 対象事業実施区域 ——— : 市町界

図3.2-14 地形分類図

【熊谷】

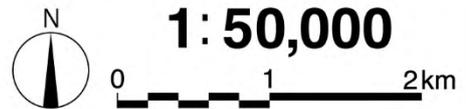
- : 火山灰台地
- : 砂礫台地（河岸段丘）
- : 扇状地
- : 谷底平野
- : 自然堤防
- : 河原（現河道の氾濫原）
- : 台地上の谷
- : 崖

- : 旧流路跡（旧河道）
 - : 国道・県道
- 【寄居】
- : 谷底平野
 - : 異常の洪水時に冠水した部分
 - : 河原・岩石河原
 - : 小扇状地・沖堆積
 - : 旧河道

【高崎・深谷】

- : 丘陵地
- : 丘陵地（残丘）
- : 火山台地
- : 谷底平野
- : 扇状地
- : 自然堤防
- : 河原（現河道の氾濫原）
- : 旧流路跡（旧河道）

出典：「地形分類図（熊谷）」（昭和49年3月、埼玉県）
 「地形分類図（寄居）」（昭和39年3月、埼玉県）
 「地形分類図（高崎・深谷）」（昭和54年3月、埼玉県）



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

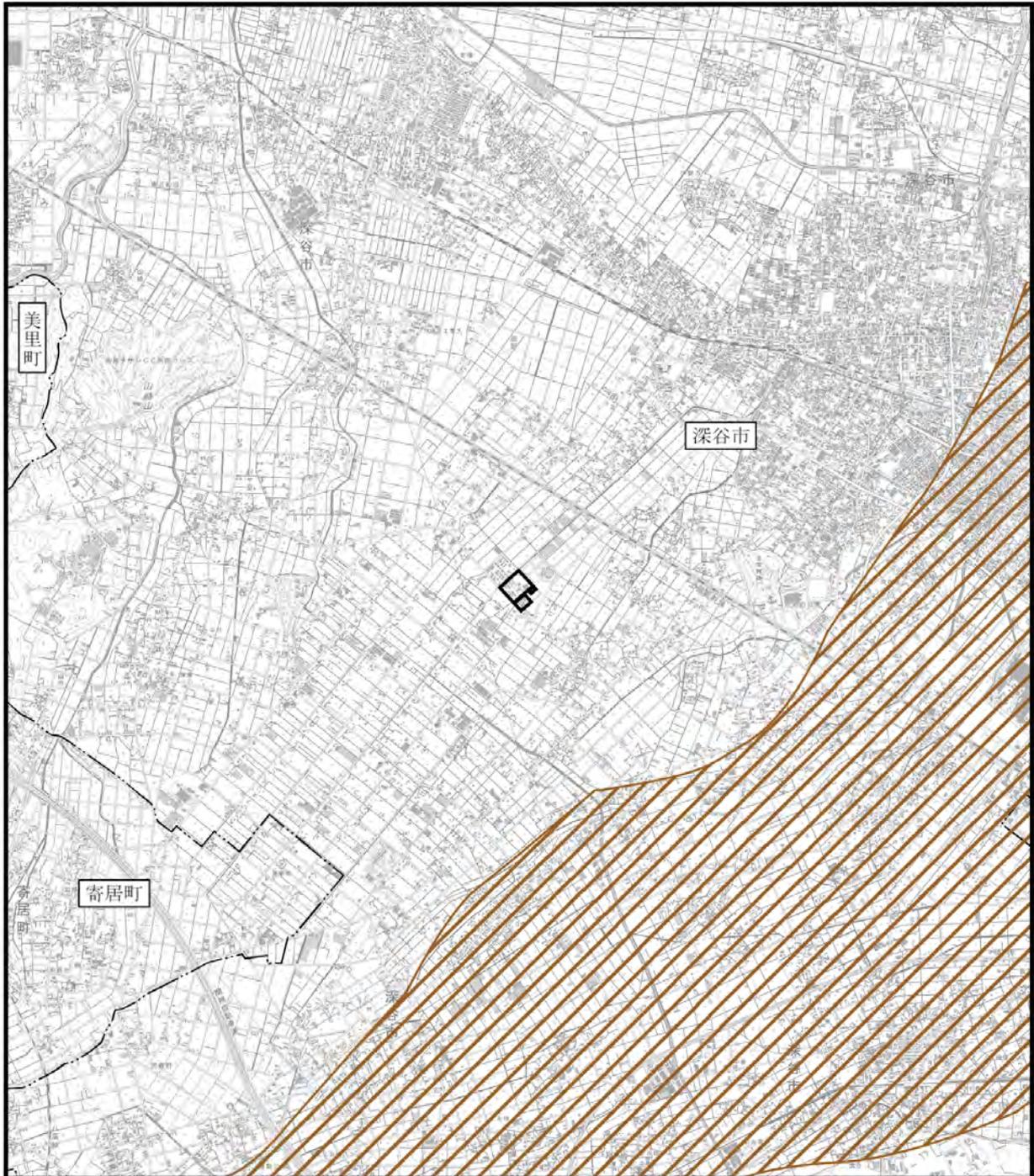
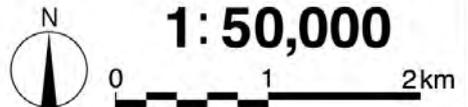


図3.2-15 重要な地形位置図

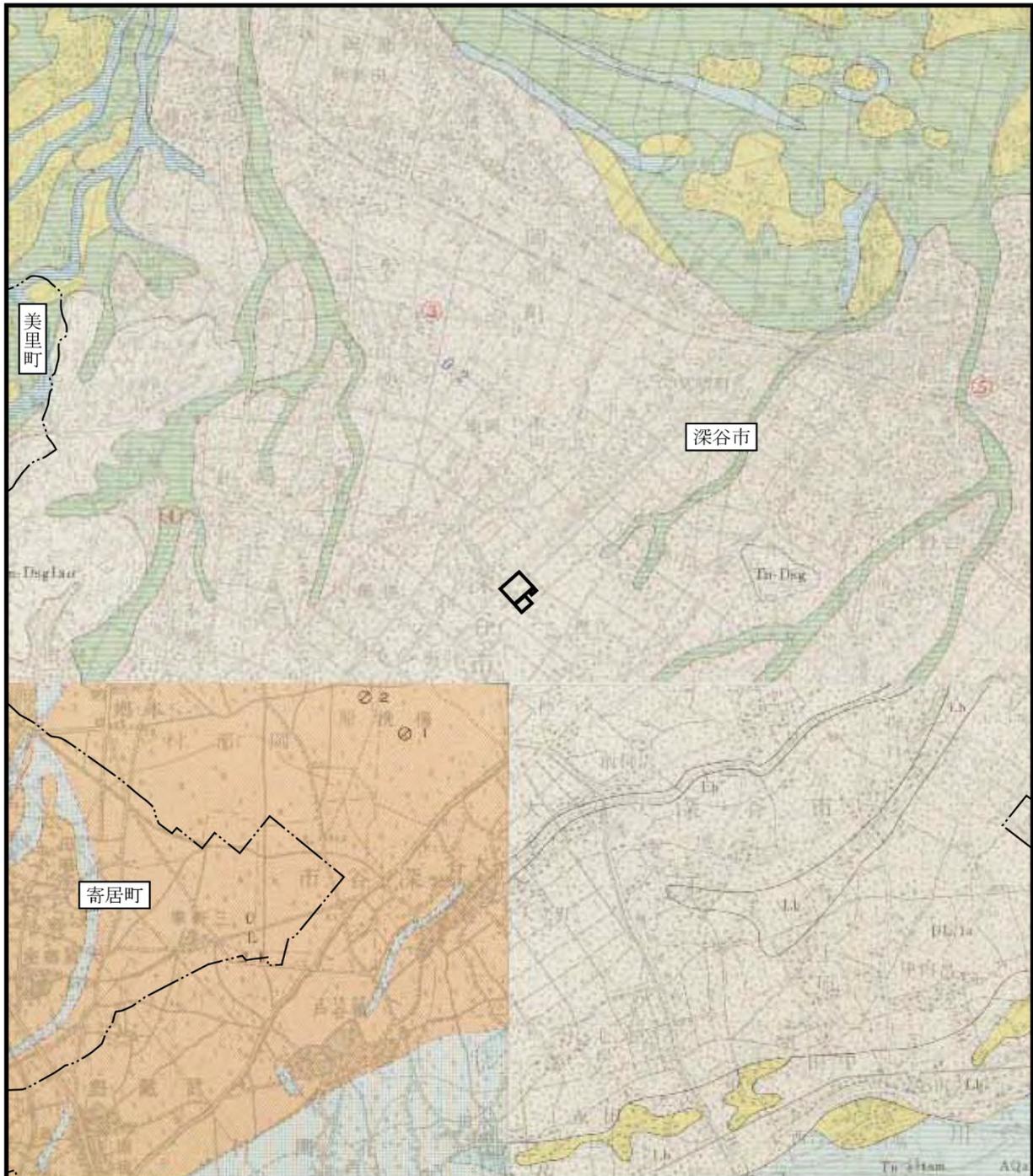
凡 例

-  : 対象事業実施区域
-  : 市町界
-  : 寄居付近の河成段丘

出典：「第3回自然環境保全基礎調査 自然環境情報図 埼玉県」
(平成元年、環境庁)



この地図は、国土地理院発行の電子地形図2万5千分の1を使用したものである。

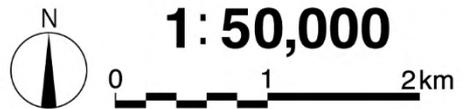


凡 例

- : 対象事業実施区域
- : 市町界

図3.2-16(1) 表層地質図

出典：「表層地質図（熊谷）」（昭和 49 年 3 月、埼玉県）
「表層地質図（高崎・深谷）」（昭和 49 年 3 月、埼玉県）
「表層地質図（寄居）」（昭和 39 年 3 月、埼玉県）



この地図は、国土地理院発行の電子地形図 2 万 5 千分の 1 を使用したものである。

高崎・深谷

未固結堆積物	Qa	砂泥堆積物（河道・氾濫原）
	Qa	砂泥堆積物（旧流路跡）
	Qa	砂質泥堆積物（自然堤防）
	Qa	泥質礫堆積物（背後湿地、谷地田の腐植土を含む）
半固結堆積物	Qd	砂礫の互層（東京層）
	Qd	粘土・砂礫の互層（埼玉層）
	Qd	粘土・礫の互層（古利根層）
	Sp	砂礫層（浅見山砂礫層）
変成岩	ms	泥岩（富岡層群）
	alt.ms	砂岩・泥岩互層（富岡層群）
	Cg	礫岩（富岡層群）
火山性岩石	Gs	緑色片岩
	Bs	黒色片岩
	L	ローム
	Tr	凝灰岩（富岡層群）
	Sp	蛇紋岩

寄居

未固結堆積物	s	礫
	m	泥
固結堆積物	cl	砕屑物
	cg	礫岩
	ss	砂岩
	Ms	泥岩または頁岩
	alt.ms	砂岩・泥岩互層
	alt.ss	砂岩・頁岩互層
	cl	珪質岩
	Sch	輝緑凝灰岩
	ls	石灰岩
火山性岩石	L	ローム
	Tr	凝灰岩
深成岩	Gr	花崗質岩
	Sp	蛇紋岩
	Qp	石英珪岩
変成岩	Gs	緑色片岩
	Bs	黒色片岩

熊谷

未固結堆積物	Qa	砂泥堆積物（河道・氾濫原）
	Qa	砂泥堆積物（旧流路跡）
	Qa	砂質泥堆積物（自然堤防）
	Qa	泥質礫堆積物（後背湿地）
	Qa	泥質堆積物（谷地田・背後湿地の腐植土）
半固結堆積物	Qd	シルト砂礫の互層（東京層）
	Qd	泥砂の互層（基底礫を含む）（埼玉層）
	Qd	シルト砂礫の互層（古利根層）
	m	粘土
	s	礫層
固結堆積物	cg	礫岩
	cgss	礫岩・砂岩互層
	ss	砂岩
	ms	泥岩
	alt.ms	砂岩・泥岩互層
	alt.ss	砂岩・頁岩互層
	cl	珪質岩
	Sch	輝緑凝灰岩
火山性岩石	Lb	埋没ローム
	L	ローム
	Tr	凝灰岩
深成岩	Gr	花崗岩質岩石
	Sp	蛇紋岩
変成岩	Gs	緑色片岩
	Bs	黒色片岩

図3.2-16(2) 表層地質図凡例